

別紙 1-2

*1 事故直後予防について

- (1) 針刺し ①血液をしぼり出す
②流水でよく洗う
③消毒用エタノールまたはイソジンで消毒
- (2) 目に入った： 直ちに水で洗う。
- (3) 口に入った： 多量の水ですすぎ、イソジンガーグル水でうがいをする。

*2 汚染源採血の要不要について

(1) 汚染源が特定できる場合

- ・汚染源の感染症検査が未検査の場合や、既知であるが1ヵ月以上前のデータまたは輸血前のデータしかない場合（汚染事故報告書で未検査扱い） ————— 汚染源採血必要
 - ・汚染源の感染症検査が検査済1ヵ月以内のデータであり、かつその間輸血歴が無い場合や輸血後かなり経過した時点のデータの場合 ————— 汚染源採血不要
(検査済のデータを汚染事故報告書に記入)
- ただし、汚染源が HBs 抗原 (+) の場合
汚染源採血必要

(2) 汚染源が特定できない場合

- ・汚染源事故報告で不明✓とする

————— 本人のみ採血必要

汚染源が特定でき採血が必要な場合、患者又は家族に事故である事を説明し、**HBV、HCV、梅毒、HIV**の検査承諾をもらう。

*3 検査項目

受傷本人：感染症検査（**HBs** 抗原、**HBs** 抗体、**HCV** 抗体、

梅毒で、**HIV** 抗体^(a)は本人希望のみ実施)

ただし、患者さんが **HIV (+)** 既知の場合 ——— **HIV** 抗体を測定^(a)

(女性の場合、妊娠反応もチェック)

患者さんが **HTLV-I (+)** 既知の場合 ——— **HTLV-I** 抗体も測定^(b)

プロファイル 項目：**GOT、GPT、LDH、 γ GTP、ALP、CRP** (6項目)

CBC (血球算定)：**WBC、RBC、HGB、HCT、PLT** (5項目)

汚染源：感染症検査（**HBs** 抗原、**HCV** 抗体、梅毒で、

HIV 抗体^(c)は承諾を得た場合のみ実施)

ただし、**HBs** 抗原 (+) の場合、**HB_e** 抗原も測定^(d)

感染症検査測定項目一覧

	HBs 抗原	HBs 抗体	HCV 抗体	梅毒	HB _e 抗原	HIV 抗体	HTLV-I 抗体
受傷本人	●	●	●	●		○ (a)	○ (b)
汚染源	●		●	●	○ (d)	○ (c)	

● : 必須項目 (30~60 分以内に報告)

○ : 状況により測定 (後日報告)

***4 HIV 暴露時**

血液・腎臓・膠原病内科専任医師の指示に従う。

女性で妊娠の可能性のある場合、フローチャートを進むまえに、中検に尿を提出
(妊娠反応検査実施)